



昭和四年十二月號

工事タイムス

◇ 鐵 道 ◇

**大苧隧道の掘鑿記録** 鐵道省萩線大苧隧道工事は延長2217米にして、昨年1月以來掘鑿進行中であつたが、本年8月4日1日進行33尺のレコードを以て無事貫通した。掘鑿の懸賞は貫通一ヶ月前より一日14尺平均の豫定にて金千圓の貫通賞を附し、尙ほ豫定日より一日早ければ金百圓を追賞し、一日遅れば金百圓を減賞するの規定であつたが、東口1711尺のケ處にて豫定より七日間早く貫通し結局金千七百圓の賞與は進鑿夫及び掘田夫、鑿燒夫其他の従業員に分配されたのである。僅かに二日間ではあるが一日33尺の進行は其勞を多とすべきである。同工事は鐵道省山口建設事務所の所管で、主任技師岩崎靈吾氏、技手柴田一雄氏、内田惠助氏、畑山正平氏等之を監督し、西本健次郎氏の請負で、下請擔當者は上原仁吉氏である。

**參宮急行電鐵 青山隧道貫通** 昨年三月着工し約三ヶ年を要し明年七、八月頃貫通する見込みであつた同トンネルは僅か一年八ヶ月足らずで西口は十二日豫定の指定個所まで掘鑿を了へ東口も十四日の朝豫定個所に進みこゝに全く貫通したがこのトンネル總延長は二、七、十里といふ日本一の長い電氣トンネルで工事完成を急ぎつゝあるが同工事は監督者西畑技師の談によるとこれだけ早く貫通を見たのはトンネル工事における我國のレコードを突破した譯であると。

**丹那隧道 東口又難工** 熱海線丹那トンネルの掘鑿工事は、西口は8月9日に平均1日10尺を掘り進み、10月に入つても1日7尺平均掘鑿

して、現在では坑口より10500尺に達し、着々工事の進捗を見てゐるが、東口では坑口より10100尺の地點にまたまた11月初旬より多量の砂を含んだ集塊岩層に到達し、湧水量も1秒間に35立方呎に増加した、この地層は去る大正10年の春30餘名を生理めとした大事故を惹き起した當時と同様の地層で、従來の掘鑿方法を以てしては甚だ危険が伴ふので、本坑の工事は一時是を中止するの止むなきに至つた、當局では取り敢ず水抜開坑を掘鑿する一方、地層の長短を調査すべくボーリングを行つてゐるが、調査の結果によつては東口の本坑掘鑿工事はまたしても行儀む模様である由。

**東京地下鐵 工 事** 工事豫定は上野、萬世橋間1哩強は4年11月竣工豫定。萬世、神田間零哩5分は5年8月竣工豫定。

右の内、上野萬世橋間は掘鑿工坪約3萬坪、此土捨運搬のために1日約100臺のトラックを使用した事もある。大林組請負で10月末の工事状況は坑内管の掘鑿均し、管コンクリート打、並に側壁及底部の防水工事等である。松坂屋との地下連絡も既に掘鑿を終り目下鐵骨組立中である。

◇ 建 築 ◇

**基督教青年會館の新設備成る** 東京神田美土代町に復興建築中の東京基督教青年會館

は、總延坪1,687坪、地下室共7階といふ偉容に、まだ東京の建築には珍しい南歐風の外觀と、内部は濫味のある英國風の衣裳を纏ふていよいよ12月中旬までに竣工を見る事になつた、全體の感じがビルディング式といふよりも「青少年のホーム」といつた感じの落ち着いたものだが、宗教、社交、體育、寄宿舎食堂及び社會事業等の事業内容を持つ設備があり、俸給生活者のための寄宿舎は6、7階にかけて76室を占めてゐる、殊に社會事業部の内で注目されるのは俸給生活者を對照とする實費診療所の新設である

**明 大 體 育 館** 東洋一を誇る明治大學體育館が11月神田駿河臺に竣工した、工費約40萬圓で延坪1500坪4階建、技師は新進の新見次郎氏、昨年9月に起工したものである、最上4階はバスケットボール、ボキシング、トラックの運動場、1、2、3階は講堂であつて定員500名の室が2つ、其他8つの講堂である、地下室には學生控室、プール、柔道、擊劍等の各室あり學生控室の一段高いところは野球部、蹴球部等それぞれの部屋を設け

ールはモーターで絶えず水がフィルターや暖房装置を通じて清潔にせられ暖められるやうにしてある柔道、撃剣後の入浴シャワーの設備なども完備してゐる。

兩國橋新建築工事竣工 兼て工事中であつた兩國橋驛も愈々完成に近づき、12月20日にはバラック驛から引移ることになつた。此新驛は鐵筋コンクリート2階建、建坪9百坪、2階を加へれば1,200坪となる堂々たるもので、驛としては一寸新味がある建物であり、しかも附近は區劃整理によつて全く見違へるやうな立派な道路が出来て居り、市電もこれとの連絡をよくすることになつてゐる。驛の構造は1階は1、2、3等待合室、貴賓室等があり、貨物の中継手荷物の取扱所もなかなかよく出来て居る、2階には食堂と會議室事務所があり、驛のホームは現在出着2ホームであるが將來萬世橋との連絡によつて電車の開通も行はれるのを豫想して電車ホームをも作られることになつてゐる。

◇ 道 路 ◇

陛下の御下問に恐懼し 10月24日御前講演の 東京市道路工事の改善 榮譽を得た堀切東京市長は當日畏くも埋上陛下より東京市内舗装道路を何故に屢々掘返すかとの御下問ありしに恐懼し、其後市土木局長其他と打合せの結果、工事に依る交通の障害を一掃する爲め次の六法を實行する事に決した。

工事に關し畏くも陛下の斯る御下問ありし事は前例なき事なるべく、實に恐懼の次第である。

- 1、掘鑿工事は掘坑溝を片押し式に逐次速に埋戻し、開放の時間を短縮するやう努むること。掘坑部にして掘鑿後3日以内(特定夜間施行區間は即日)に埋戻し難き箇所は、充分なる土留を施し安全に交通し得るやう板張覆工を爲すこと、但し板張覆工を爲すに因り掘坑の目的を達し難きときその必要止むを得ざる場合は、特に道路管理者の承認を受けこれを爲さざることを得。
  - 2、電車軌道交叉點の中心より路幅(交叉道路の路幅は其の廣きものに據る)の2倍に亘る區間及び別に定むる區間を特定夜間施行區間とし、右區間に於ては下の場合を除くの外午後11時より翌午前5時迄の間に工事を施行すること。
- (イ)板張覆工下に於て工事又は作業を爲すとき。  
(ロ)沿道宅地と連絡し同時に引込管線工事の施行を要するとき。

- (ハ)突發事故に對し應急の措置を必要とするとき。
- (ニ)その他道路管理者に於て

- 1、交通上支障なしと認めたるとき。
- 2、工事の性質上やむを得ざるものと認めたるとき。
- 3、工期短縮の爲晝夜兼行の必要を認めたるとき
- 3、特定夜間施行區間に於ては掘鑿土、不用材及殘材を道路上に推積せざること、但し特に必要ある場合は道路管理者の承認を受け時間以内に限り路上にこれを假置し得ること。
- 4、止むを得ずして工事に用器具機械類、使用材料を特定夜間作業區間の道路上に假置する必要がある場合は、道路占用の位置、期間及び面積に關し所轄土木局道路課區出張所の指示を受けこれを決定すること
- 5、特定夜間施行區間においては特別の事由なき限り混凝土の現場練及び現場にて石拵へその他工事に用材料の加工をなさざること。
- 6、掘鑿工事中豫期せざる路下支障物件現出したる場合はその管理者に速に措置の要求をなすこと。前項の要求を受けたる者は速にその措置を完了すること、若し要求の日より3日以内にその措置に着手せざるときは要求者は遅滞なく掘鑿を埋戻し又は充分なる土留を施し安全に交通を得るやう板張覆工をなすこと。
- 7、舗装道路掘鑿箇所には急硬セメントを使用すること。
- 8、特定夜間施工區間に屬する電車交叉點以外の分は次の通り。  
銀座通新橋より京橋、日本橋を経て萬世橋まで  
九段下車交叉點より小川町を経て須田町まで(其他略)

◇ 橋 梁 ◇

Y字型の三吉橋 東京京橋區役所の前に、世界で初めての試みといはれてゐるY字型の橋が復興局の手で架けられる、工事は全部130萬圓の豫算で、この2月に着手され12月中には竣工を見る事になつてゐる、現在の築地川と、楓川とを連絡する運河が開鑿されるので、川が同所で三つ又と



は九月號参照され度し

工事タイムス

なる、そこでこの三つ又の中央河中へ一邊の長さ36呎6吋といふ鐵筋コンクリート長さ42尺の大三角柱を建て、これに新富町、築地、木挽町の三方から幅15米突、長さ91尺鑄鐵欄干附の鋼板コンクリート橋が架けられるのである、橋名はこれまでの逢曳橋を改め多分三吉橋と改稱される由。

錦帯橋の沈下 山陽線麻里在藤生間の複線工事着手の下調査中、はしなくも同

區間の今津門田兩鐵橋が、地盤の關係上漸次橋脚が地下へ没入し、橋位が約1寸弱低下してゐるのを発見したので、今回さらに地質調査を行つたところ、同地帯にある天下の名稱錦帯橋にも同一状態の下に橋脚が低下して、今日では約1寸弱も橋位が下つてゐることが発見された、近く鐵道省工務局關門派出所の佐伯技師が調査に再向くことになった。

利根昭根橋 埼玉縣川俣町から群馬縣館林市利根昭根橋の工事竣工し11月10日開通式を舉行した

新橋は工費17萬圓の近代式木橋で、長さ360間、幅3間30間毎に50燭光を點じてゐる、同箇所は從來川俣の渡しとして不便を極めたものであつた。

◇ 船 渠 ◇

吳軍港の大船渠竣工 大正12年經費6百萬圓を投じて9ヶ年繼續事業として着工された吳工廠の45,000噸の巨艦を入る第4船渠は其後華府會議第2年縮會議に崇られて繰延べを餘儀なくされたが、約7ヶ年の日子を費して11月16日竣工式が行はれた。此第4船渠の竣工により赤城、加賀の航空母艦も入渠出來得る我國唯一のものである。

○古市公威男爵 今回の萬國工業會議會長たる同氏は11月初旬、米國土木學會名譽會員に推舉された。

◇ ざつろく ◇

日本土木建築請負業者聯合總會 第11回は10月22日東京丸の内、東京會館にて盛大に開催し、會規及び議案を決議した、23日は地方代表者市内工事見學をして上野の東京地下鐵工事、永田町の議事堂工事を視察した。

○林有一氏逝去 老來益々健筆を振はれつゝありし建築技師林有一氏は肋膜炎にて數ヶ月來療養中なりしが11月8日遂に穩田の自邸に逝去された。

○復興展の陳列品 11月10日まで市政會館にて開催した復興展覽會出陳物は工事關係者に頗る好參考と

なるものであるが、特に三百年前の江戸の地圖から今日の東京に至るまでの市域膨張の状態を示したものを最初に伊能忠敬翁の江戸測量圖や東京都市計畫諸圖に次いで、往古よりの大震災の參考圖、繪圖、統計表等無數に陳列された。中央廣間には關東大震災の大繪圖數十枚を掲げて法慘なる當時の情況を示してゐる。土木建築工事に關する參考資料も頗る多く研究的に觀て歩いたら10日位も要するであらう。

道路の鋪裝費比較が實物見本で示されてゐるが、

石塊鋪裝	一面坪	50圓
木塊鋪裝	一面坪	45圓
シートアスファルト	一面坪	27圓
塗油砂利道	一面坪	1圓89

などの見本があるが、此の1.39圓の塗油鋪裝は東京市の發明品で所謂簡易鋪裝と稱するものである。材料は瀝乳第一號で施工場所は赤坂區靈南坂町、昭和3年10月施工となつてゐるが、今日では丸ノ内附近の横町などにも使用されてゐた。

以上の標本に各特長及び耐久力と修繕費とを示されたなら好參考であると思はれる。

壁に掛けられた圖表ばかり多いので觀て歩く内に首が疲れる位であるが、たまに裝飾工事などの實物見本があると面白い気分轉換である。東京工業大學出品の建築構造に與へる震動試験の模型などは頗る注意を引いてゐる。簡単な試験であるが、試験されて見ると成る程と肯かれる。抽象的な理論よりあゝした實物試験なら何人にも興味を與へる。入場料十錢は會場整理のため止むを得まい。尚ほ同會に出陳された三百餘種總點數千數百餘は將來の參考品として、本所被服廠跡に保存せらるゝ由である。

室内裝飾と  
數物の御用は  
小林榮商店へ  
京橋區川口町三十一番地  
電話京橋一五二〇番